

就労支援事業

産業部産業総務課(電話:457-2115)

1 目的

若年者（高校生）、若年無業者及び女性を対象に、一人でも多くの求職者を適正な就労に向かわせるため、職業意識の形成、自己分析や見識の拡充を図るなどの就労支援を実施する。

2 背景

- ・静岡県における高校生の就職後3年以内の離職率は35.7%と高い割合となっており、高校生の職業意識の醸成、自己適性にあった職業選択の支援が必要
- ・労働力人口が減少していく状況のなかで、女性の労働力の確保が課題の一つとなっており、一人でも多くの女性が就業できるように就労支援が必要

3 事業内容

(1) 若年者就労支援事業 7,991 千円

高校生の職業意識を形成し、適正な職業選択の機会を提供する。

- ・就業体験を受け入れた事業所への奨励金交付
- ・職業や産業に対する理解を深めるための企業見学
- ・労働教育、社会人としてのマナー、面接の受け方等を学ぶための就職支援セミナー

(2) 地域若者サポートステーションはままつ事業 4,634 千円

ニートやひきこもり等の若年無業者に対し個々の状況に応じて、就業に向けた支援を行う。

- ・キャリアコンサルティング、心理カウンセリング、職場で必要なコミュニケーションスキル等を実践して学ぶソーシャル・スキル・トレーニング
- ・特別支援教育士による基礎学力の学び直し支援を行い、社会適応能力を向上

(3) 女性就労支援事業 3,300 千円

多様化する女性の働き方に合わせ、女性の就労を支援する。

- ・内容を正規雇用型とパートタイム型に分け、意欲喚起や実践的セミナーを実施
- ・女性の求人がある企業との就職面接会などの実施をはじめ、就職情報等の提供を継続的に
行い一人でも多くの女性を就労に繋げる

4 事業費 15,925 千円

- ・委託料 11,095 千円（高校生職場見学実施事業業務委託等）
- ・報償費 4,800 千円（高校生就業体験推進事業）
- ・その他 30 千円（需用費、役務費）

〈新規〉UIJターン就職支援事業

産業部産業総務課(電話:457-2339)

1 目的

人口減少問題が全国的に取り上げられるなか、本市においては若者の転出超過が顕著であり、次代の地域産業を担う人材確保を含め、就労支援の側面から即効性のある対策を実施する。

2 背景

- ・平成22年の国勢調査の結果から、本市の若者世代(20～30歳)の比率は24.8%、若い女性は12.0%であり、ともに指定都市ワースト3である
- ・大学進学に伴う大都市圏等への転出が顕著であり、大学新卒者等の雇用による大都市圏からのUIターンや地元大学生の市内定着が、転出した人口を補完するための大きなポイントとなっている

3 事業内容

市内はもとより大都市圏域等で浜松市へのUIJターン就職を支援するため、企業と求職者の就職マッチングや静岡県との連携事業、就職応援サイトのリニューアルを実施する。

また、静岡大学が文部科学大臣から採択を受け実施する、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業COC+」について、加盟大学はもとより、静岡県をはじめとした関係機関と連携し事業を実施することで、地元大学生の浜松市内定着を推進する。

(1) 首都圏ビジネス情報センター関連事業 3,396千円

首都圏大学との連携、浜松市内中小企業と首都圏在住の学生等を対象とした就職マッチング事業(年2回)

(2) 静岡県との連携事業 1,756千円

大都市圏での就職面接会、企業見学会

(3) はままつ就職応援サイトリニューアル 6,281千円

従来のはままつ就職応援サイトをリニューアルし、UIJターン就職支援を充実

(4) COC+関連事業 15千円

地元大学生と市内企業経営者との「対話交流会」

4 事業費 11,448千円

- ・委託料 8,989千円(サイトリニューアル業務委託等)
- ・使用料及び賃借料 1,095千円(就職面接会開催会場費等)
- ・その他 1,364千円(需用費等)

求職者就労支援事業

産業部産業総務課(電話:457-2339)

1 目的

働く意欲がありながら容易に就職に結びつかない求職者に対し、個別伴走型による支援を行うとともに、無料職業紹介事業に取り組むなど、就労に関する相談から就職までを一貫して支援することで、一人でも多くの求職者を就労へと結びつけ、自立した社会生活の実現を図る。

2 背景

- ・全国及びハローワーク浜松管内の有効求人倍率は改善傾向にあり景気も回復基調にあるが、社会環境の複雑化や経済環境が激変する状況下において、悩みを抱え支援を望む就職困難者は絶えない
- ・1人でも多く就職に結びつけ自立した社会生活を実現するため、人と仕事を繋ぎ支えていく就労支援の体制・環境の一層の充実が必要である

3 事業内容

浜松市パーソナル・サポート・センター（ザザシティ浜松中央館5階）運営事業

・生活等支援業務

支援対象者が直面する生活難の状況や要因、就職に至るまでの課題を整理し、必要に応じて専門機関へ誘導するなど、就職活動を行えるような環境を整備

・就労支援業務

臨床心理士等による支援対象者一人ひとりに適したサポートプランの作成や個別伴走型の就労支援

・職業訓練支援業務

職場体験や就労体験、就労支援セミナーを実施し、働く力や継続する力を養成

・無料職業紹介業務

職業紹介や職業斡旋業務に取り組み、支援対象者の希望に沿う企業情報の収集提供や独自の企業開拓など就職に対する出口体制を確立し、ミスマッチを解消

・定着支援業務

支援対象者へのケアを充実し、継続的助言等により定着・自立を促す

・ボランティアサポーターの活用及び養成

サポーターを活用した支援対象者の掘り起しを行うほか、新たなサポーターを養成

4 事業費 55,000 千円

- ・委託料 55,000 千円（パーソナル・サポート・センター運営事業業務委託）

農林水産物海外販路開拓事業

産業部農業水産課(電話:457-2333)

1 目的

農林水産物及びその加工品の海外販路開拓を行う農林水産業者や中小食品事業者を支援し、農林水産物等の海外市場への販路拡大、農林水産業及び食品関連産業の活性化を図る。

2 背景

- ・国内市場の縮小に対応するため、海外成長市場への輸出拡大が必要
- ・海外における和食ブーム等により農林水産物の輸出額は全国的に増加しており、本市産品を輸出する好機が到来

3 事業内容

JETRO 等からの情報を活用し、3 か国で市産品のテストマーケティング及び販売対象への PR 等を実施し、平成 29 年度までに小ロット輸出、平成 32 年度までに安定的輸出を確立する。

(1) 海外事業者との交渉の支援

- ・浜松市にてタイバイヤーと市内事業者とのマッチング会の開催
- ・台湾の高級スーパーマーケットにおけるテストマーケティングを行い、継続取引につなげる機会の創出

(2) 本市産品の PR

- ・シンガポールにおいて有名シェフ考案の本市産品を食材としたメニューを提供することで、高級レストラン等への食材納入を目指す
- ・台湾の建国花市に出展し、輸送、検疫に関する情報収集を行うとともに商談につなげるため本市産品の認知度向上を図る

(3) (新規)市場等流通量調査

- ・浜松市産品の取引状況及び購入者からの評価を調査

4 事業費 10,520 千円

※農商工連携・6次産業化推進事業 49,100 千円の一部

- ・委託料 6,250 千円 (市場等流通量調査等)
- ・負担金補助及び交付金 2,100 千円 (現地バイヤーとのマッチング会の開催等)
- ・その他 2,170 千円 (旅費及び台湾における PR 事業物品等)

農業振興エリア整備事業

産業部農業水産課(電話:457-2333)

1 目的

新・産業集積エリアの工場立地誘導地区周辺農地において、農業生産性の向上を図るための基盤整備事業や農地流動化対策等を推進し、農業と工業のバランスある土地利用の実現を図る。

2 背景

- ・新・ものづくり特区の数値目標「平成 28 年度農業産出額 600 億円達成」
(平成 18 年度 : 540 億円)
- ・特区事業計画において、新・産業集積エリア周辺部の農地の集約及び再整備を計画
- ・平成 26 年度に区域内及び周辺部の農家・農協等の要望を踏まえた調査を実施

3 事業内容

(1) 農地の流動化対策

- ・県単独農業農村整備調査事業

新・産業集積エリア近接地にて斡旋可能な農地を確保するための基盤整備調査及び意見調整

(2) 安心して農業ができる環境対策

- ・農業基盤整備促進事業

畑地かんがい施設、園内道路、暗渠排水事業に対する補助

(3) 農業生産性等の向上対策

- ・戦略畑地農業整備事業

果樹の品質向上のため点滴灌漑や安定的な水供給を可能とするスプリンクラーの整備

- ・県単独内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業

新規就農者対象の畑地かんがい施設等の整備

- ・農業農村整備事業実施計画策定事業

用水施設、農道等の整備事業計画策定

4 事業費 42,130 千円(財源:市債 4,700 千円)

- ・負担金補助及び交付金 41,980 千円

(県単独内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業費負担金等)

- ・旅費 150 千円(国、県との協議のための出張旅費)

多様な担い手育成支援事業

産業部農業水産課(電話:457-2333)

1 目的

障がい者や高齢者などの多様な担い手による農業参画の機会を創出することで、農業の活性化と発展を図る。

2 背景

- ・農業従事者の高齢化や担い手不足と遊休農地の増加
- ・既存の認定農業者の育成や新規就農者の確保等の施策に加え、農業の課題解決のため多様な担い手の育成・確保が必要

3 事業内容

(1) ユニバーサル農業推進事業

農業、企業、福祉等の関係団体と連携し、障がい者の農業参画機会の創出や受入農家拡大を行うとともに、多様な担い手の農業参画による農業の活性化を図る。

①ユニバーサル農業に係るシンポジウムの開催

- ・開催時期：平成 29 年 2 月（予定）
- ・開催場所：浜松市地域情報センター（予定）
- ・対象者：農業者、企業、福祉関係者等

②障がい者と農業者・企業等の橋渡し

- ・市が主体となった中間支援の実施

(2) 農業サポーター事業

余暇活動としての農業に関心を持つ市民が農作業を行う場を創出し、市民の農業参画を促すため、農業サポーター及び受入農家を公募し、農作業を行う場を提供する。

4 事業費 818 千円

- ・委託料 700 千円（ユニバーサル農業シンポジウム開催事業委託）
- ・旅費 50 千円（他団体が行うユニバーサル農業に関するシンポジウム参加等）
- ・その他 68 千円（ユニバーサル農業研究会資料代及び農業サポーター保険料等）

農業経営塾開催事業

産業部農業水産課(電話:457-2333)

1 目的

市内の意欲ある農業者等を対象に農業経営に関する講座を開催し、経営者としての資質向上を図り、本市の農業をけん引するリーダーを育成する。

また、企業の農業サポートを推進するため、農業経営塾と併せて実施する相談会の開催等により、企業の新規農業参入を促す。

2 背景

- ・農業従事者の高齢化や担い手不足と遊休農地の増加
- ・既存の認定農業者の育成や新規就農者の確保等の施策に加え、農業の課題解決のため担い手の育成・確保が必要
- ・農業の成長産業化を支える経営力を持った担い手育成と農業のビジネス化の必要性

3 事業内容

平成 27 年度から商工業者や農協職員まで対象を拡大し、より体系的に学べるよう単年度事業から3年1クールを3回実施する。

区分	H27	H28	H29	H30	H31
1 クール	Step1	Step2	Step3		
2 クール		Step1	Step2	Step3	
3 クール			Step1	Step2	Step3

(1) 【Step1 開塾セミナー等／プレゼミ】

- ・開塾セミナー及び相談会開催等
対象者：100人程度
- ・STEP2の受講者候補を対象としたプレゼミ開催
対象者：20～30人

(2) 【Step2 ゼミ】

- ・経営戦略やマーケティング等を学ぶゼミを5回程度開催。ゼミ修了後、修了証書を授与
対象者：20～30人

(3) 【Step3 フォローアップ】

- ・経営計画の進捗管理、経営内容への個別指導等前年度ゼミのアフターフォロー
対象者：20～30人

4 事業費 4,628 千円（財源：諸収入 300 千円）

- ・報償費 2,800 千円(講師謝礼)
- ・委託料 1,678 千円(農業経営塾運営委託)
- ・使用料及び賃借料 150 千円(会場賃借料)

グリーンツーリズム推進事業

産業部農業水産課(電話:457-2333)

1 目的

農山漁村の多彩な地域資源を活用し訪日外国人を呼び込むことで、農山漁村の振興、活力ある農山漁村の継承及び農水産物の消費拡大を図る。

※グリーンツーリズムとは

農山漁村地域において自然、文化、人々と交流を楽しむ滞在型の余暇活動を行うもの。

2 背景

- ・農林水産業を取り巻く状況として、農業生産額・農業所得の減少が課題
- ・農山漁村における農業施設体験プログラムを観光地域ビジネスにつなげる取組が必要
- ・都市との共生・交流を強力に推進し、農山漁村における所得や雇用の増大により地域活性化を図ることが必要

3 事業内容

(1) (新規) 農業体験施設と旅行会社とのマッチング事業

- ・訪日外国人旅行者の受け入れのため、意欲はあるが受け入れるためのツールのない農業体験施設と旅行会社とのマッチング会を開催
- ・旅行会社に魅力を伝え、旅行ツアーに農業体験施設を盛り込むことで訪日外国人を受け入れる

(2) 交流会等に対する負担金

浜松市グリーン・ツーリズム交流会負担金及び静岡県グリーン・ツーリズム協会負担金

4 事業費 1,278 千円

- ・委託料 800 千円(マッチング会開催経費)
- ・負担金補助及び交付金 460 千円(交流会等に対する負担金)
- ・その他 18 千円(県協議会総会参加のための経費、郵便料)

新規就農者育成支援事業

産業部農業振興課(電話:457-2331)

1 目的

農業の持続的な発展を支える次代の担い手を確保するため、就農開始時に必要とする経費の負担を軽減し、円滑な就農及び就農後の定着を促進する。

2 背景

- ・浜松市農業振興基本計画の基本方針の1つ「担い手の育成・確保」に基づく、新規就農者の育成・確保の推進
- ・農業者の高齢化による後継者不足

3 事業内容

新規就農者の就農後の農業経営を総合的に支援するための給付金

- ・対象者 原則 45 歳未満かつ 5 年以内の新規就農者
- ・交付額 年額 1,500 千円（後期申請者 750 千円、夫婦共同申請者 2,250 千円）
- ・給付期間 就農後から最長 5 年

4 事業費 128,250 千円（財源：県 128,250 千円）

- ・負担金補助及び交付金 128,250 千円

(参考) 就農年度別内訳

(単位：人(組))

	H24	H25	H26	H27	H28	合計
交付額 1,500 千円 (通期申請者)	20	18	12	13	10	73
交付額 750 千円 (後期申請者)	0	0	0	0	10	10
交付額 2,250 千円 (夫婦共同申請)	1	1	2	1	0	5
対象者人数(組数)計	21	19	14	14	20	88

担い手への農地集積推進事業

産業部農地利用課(電話:457-2481)

1 目的

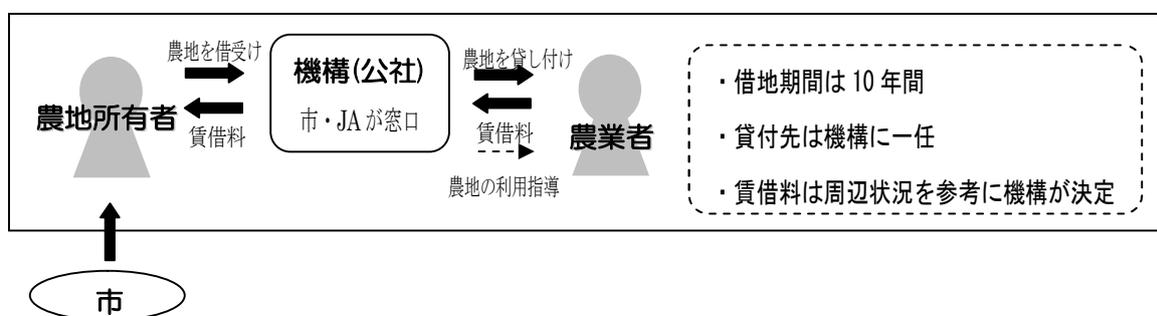
農地の集積及び集約を図るため、所有者から農地中間管理機構が農地を借受け、農地を必要とする農業者に貸し付ける農地中間管理事業を行う。

2 背景

県が、農地中間管理機構を設置(平成26年3月)

- ・各都道府県に1つ機構を設置(静岡県は静岡県農業振興公社が機構)
- ・市、JA(とびあ浜松、三ヶ日、遠州中央)が事業窓口

《貸付のイメージ》



- ・貸し借りが成立した農地の所有者等に集積協力を金を交付(県10/10)

3 事業内容

(1) 地域集積協力金

地域内の農地の一定割合以上を中間管理機構に貸し付けた地域に対する協力金の交付

(2) 経営転換協力金

農地を10年間以上中間管理機構に貸し付け、リタイアする農業者等に対する協力金の交付

(3) 耕作者集積協力金

中間管理機構借受け地の隣接農地等を中間管理機構に貸し付けた所有者等に対する協力金の交付

4 事業費 6,370千円(財源:県 6,370千円)

- ・負担金補助及び交付金 6,370千円(各種協力金の交付)

林業従事者に対する支援

産業部林業振興課(電話:457-2159)

1 目的

本市の林業・木材産業に関わる事業者の担い手確保のため、関連事業者が行う就業者確保のための活動を支援する。

また、林業就業者の継続雇用のため、林業事業体が行う林業就業者の技術の向上、就労条件の改善等を支援する。

2 背景

- ・持続可能な森林管理及び木材の安定供給のためには、新たな林業就業者の確保と育成が必要
- ・新規就業者を確保するためには、国等が行う新規就業者を対象とした支援に加え、林業・木材産業に関わる事業者が行う就業者確保に対する支援の充実も必要

3 事業内容

(1) 林業従事者助成事業 11,789千円

林業事業体が行う林業作業員の技術及び技能の向上、就労条件の改善、就業者の継続雇用等に要する経費に対する助成

- ・補助対象者 : 林業事業体
- ・補助対象事業 : 林業技術者の技能習得研修等に要する経費
- ・補助率 : 1/2~1/6以内

(2) 〈新規〉林業担い手確保対策支援事業 1,000千円

林業・木材産業に関わる事業者が行う就業者確保のための活動に対する助成

- ・補助対象者 : 林業・木材産業に関わる事業者
- ・補助対象事業 : 就業者確保のための活動に要した経費
- ・補助率 : 1/3以内、上限/200千円

4 事業費 12,789千円

- ・負担金補助及び交付金 12,789千円(林業技術者の技能習得費用に対する補助金等)

〈新規〉FSC認証材・CLT利活用推進事業

産業部林業振興課(電話:457-2159)

1 目的

FSC 認証材及び CLT (直交集成材) の利活用を「民」・「官」連携により積極的に推進することを通じて、新たな木材需要を創出するとともに、木材生産及び流通量を拡大し、林業・木材産業の産業力強化並びに地方創生を図る。

※CLT とは

- ・ Cross Laminated Timber(クロス・ラミネイティド・ティンバー)の略で、欧州で開発された板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネル
- ・ 新たな木造建築材料として、中高層・大規模建築物での活用が期待されている

2 背景

本市と地元金融機関との「地方創生に係る包括連携協定」に基づき、地元金融機関から本市に提案された事業の一つである。

3 事業内容

(新規)「(仮称)浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」に対する負担金

・ 事業内容 (予定)

①FSC 認証材の積極利用に向けた事業

②CLT の利用方法の研究及び率先利用に向けた事業 など

・ 設立時期 (予定)

平成28年5月～6月頃

・ 協議会参加事業者 (予定)

建設事業者、製材事業者、木材流通事業者、林業事業者、金融機関等

4 事業費 500 千円

・ 負担金補助及び交付金 500 千円

(「(仮称)浜松地域 FSC・CLT 利活用推進協議会」に対する負担金)

F S C 認証材販路拡大事業

産業部林業振興課(電話:457-2159)

1 目的

天竜材 (FSC 認証材) の販路拡大のため、日本最大の住宅・建築関連専門展示会に出展する。

2 背景

- ・ 本地域は、平成 22 年 3 月、市内 6 森林組合等との連携のもと、FSC 森林認証を取得。
- ・ 本地域の FSC 認証面積は、市町村別で全国 1 位。
- ・ 天竜材の販路を拡大するため、FSC 認証材である天竜材の PR の場を設置し、関係者への営業活動を進めることが必要

3 事業内容

天竜材 (FSC 認証材) の販路拡大に向けて、日本最大の住宅・建築関連専門展示会であるジャパンホームショーに出展し、林業・木材産業関係者とともに国内外のバイヤー等に天竜材の PR を行う。

「ジャパンホームショー2016」の概要

- ・ 会 期：平成 28 年 10 月 26 日 (水) ～28 日 (金)
- ・ 場 所：東京ビッグサイト
- ・ 出展者：国内外の木材生産及び木材製品事業者
- ・ 来場者：国内外の木材関連バイヤー等

※「ジャパンホームショー2015」の実績

- ・ 会 期：平成 27 年 11 月 18 日 (水) ～20 日 (金)
- ・ 場 所：東京ビッグサイト
- ・ 出展者：国内外の木材生産及び木材製品事業者
- ・ 来場者：国内外の木材関連バイヤー等、32, 831 人 (主催者速報)
浜松市ブース来訪者 750 人

4 事業費 1,888 千円

- ・ 委託料 1,434 千円 (ブースデザイン及び設営、PR パンフレット制作等の委託)
- ・ 旅費 454 千円 (展示会参加のための旅費)

〈新規〉天竜材海外輸出検証事業

産業部林業振興課(電話:457-2159)

1 目的

天竜材の新たな販路拡大先として想定される中国・韓国・台湾等への海外輸出の可能性を検証するため、木材需要や双方の法的規制、国内の先進地事例調査などを行う。

2 背景

- ・国内での木材需要の減少が進む中、新たな販路の検討が必要
- ・国内の一部企業では、すでに海外企業と連携した輸出を行っているため、浜松市においても輸出検証が必要

3 事業内容

[平成 27 年度 2 月補正]

- ・天竜材 (FSC 認証材) について、海外輸出の可能性の調査・検証 4,000 千円
 - ①中国、韓国、台湾等の木材マーケット調査
 - ②輸出に関する法規制等の調査
 - ③木材輸出に関する先進地域の情報収集
 - ④木材輸出に関するセミナー等の開催

[平成 28 年度当初]

- ・木材マーケット調査 486 千円

4 事業費 4,486 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 4,000 千円 (財源: 国 1,900 千円)

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 486 千円

- ・委託料 4,000 千円 (木材マーケット調査や法的規制の確認等の委託)
- ・旅費 486 千円

新・産業集積エリア整備事業

産業部産業総務課(電話:428-0655)

1 目的

新東名高速道路・浜松 SA スマート IC 周辺地域に大規模工場用地を整備する。

2 背景

- ・市内企業を中心に、津波や液状化などのリスク不安の少ない内陸部への立地需要が高まっており、迅速な工場用地確保が必要
- ・平成 23 年 12 月に内閣府による未来創造「新・ものづくり」特区に指定

3 事業内容・事業費

(1) 事業面積 49.8ha

(2) 事業費 3,839,668 千円 (財源: 基金繰入金 3,000,000 千円)

①工場用地開発事業 3,262,624 千円

- ・用地買収(土地・物件)
- ・土地区画整理事業における仮換地指定の実施
- ・調整池、道路等の築造や宅地造成工事

②下水道整備事業(負担金) 577,044 千円

- ・下水道施設(地区外)工事に要する負担金

4 スケジュール

平成 28 年秋以降、一部区画の分譲を開始予定

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	備 考
設計・調査	→									
市街化区域編入・農振除外	→									
用地買収事業		→								
土地区画整理事業				→						
下水道整備事業		→								H30 一部供用開始
工場用地分譲				→						

首都圏特産品PR事業

産業部産業振興課(電話:457-2285)

1 目的

東京・浅草の商業施設「まるごとっぽん」において市の紹介や特産品を販売するブースを継続して出展し、東京のみならず全国から来る観光客に向けて浜松市の特産品・観光・Iターン・中山間地域への移住・ふるさと納税等のPRを総合的に行う。

2 背景

- ・平成 27 年 12 月に東京・浅草にオープンした商業施設「まるごとっぽん」において市の紹介や特産品を販売するブースを出展した
- ・「まるごとっぽん」の展示フロアには、全国 20 市町村等のブースが出展され、互いに連携することで大きな話題を呼び込むことができる
- ・井伊直虎を題材とした大河ドラマの放送決定を受けて、浜松が全国から注目されることが予想され、首都圏において本市をPRする絶好の機会である

3 出展ブース概要

- ・「まるごとっぽん」3階 浅草っぽん区内約 2.7 坪 (縦 3m×横 3mのスペース)

フロア	1階	2階	3階	4階
業態構成	っぽん食市場	くらしの道具街	浅草っぽん区	ふるさと食堂街

- ・ブースには、高機能演出照明 (スペースプレーヤー) が付いた特製展示台が設置
パネルやパンフレットの展示が主流であった従来のアンテナショップ等とは異なり、視覚や感覚に訴える“魅せるPR”が可能

4 事業内容

- ・四季折々の浜松の美しい景観等を照明と映像投影でPR
- ・特産品を活用したイベントの開催
浜松市フェア (物産展、カフェでのメニュー提供など)、本市食材を活用した料理教室 (4 回)、など
- ・四季に合わせた特産品の展示・販売

5 事業費 7,636 千円

- ・委託料 4,200 千円 (浜松市フェア・料理教室開催等)
- ・使用料及び賃借料 2,722 千円 (ブース出展料)
- ・その他 714 千円

産業イノベーション支援事業

産業部産業振興課(電話:457-2044)

1 目的

「はままつ産業イノベーション構想」に基づき、(公財)浜松地域イノベーション推進機構を中心として、地域の産学官と金融機関との連携により、既存産業の高度化・高付加価値化及び成長市場・新産業の創出を目指す。

2 背景

- ・本市の産業は、輸送用機器関連産業に大きく依存しており、輸送用機器産業に次ぐ新たな産業の創出が望まれている

3 事業内容

(1) 産業イノベーション支援事業 205,848 千円

企業情報の発信・分析、企業相談の受付、中小企業の人材育成、創業支援、知財活用等の支援、新事業開発支援、海外展開支援などの業務を浜松地域イノベーション推進機構に委託

① コンシェルジュ事業

- ・(新規) 企業訪問・出張キャラバン隊

専任コーディネーターを中心とした行政・金融機関とのチームで定期的に中小企業を訪問。各種産業支援情報の提供を行うとともに、企業のニーズや抱える課題、企業が有する技術やノウハウ等を把握し、最適なアドバイス・支援を実施する。

- ・広報、相談業務(専門家派遣)など

② 企業力向上支援

- ・製造中核人材育成講座、現場力向上人材育成講座、新素材・新技術講座、自社製品開発講座、ものづくりマイスターインターンシップ、知的財産活用支援など

③ イノベーション推進

- ・(新規) オープンイノベーションフォーラム

新たな研究素材の発掘や研究会発足に向けた情報収集、マッチングの場の提供及び若手技術者の交流の場の提供

- ・(新規) 共同研究補助金

市内中小企業者3社以上のグループで実施する新技術や新製品の開発を目的とした事業化研究に対する補助金

上限:30万円 補助率:1/2 対象経費:原材料費、実験・試作等経費など

- ・事業化可能性調査費補助金、競争的資金等獲得支援(セミナー開催等)、ものづくり販路開拓支援(展示商談会出展補助金)、海外ビジネス展開支援(レンタルオフィス補助金等)

(2) はままつ産業イノベーション構想の改訂 484 千円

平成23年10月の策定から5年が経過することから、社会環境の変化に応じて内容を見直し

4 事業費 206,332 千円

- ・委託料 205,848 千円(産業イノベーション支援業務委託)
- ・その他 484 千円(委員謝礼、有識者謝礼、旅費等)

成長産業創出支援事業

産業部産業振興課(電話:457-2044)

1 目的

「はままつ産業イノベーション構想」(平成23年10月策定)において、戦略的に支援すべき産業分野として位置づけた成長6分野(①次世代輸送用機器、②健康・医療、③新農業、④光・電子、⑤環境・エネルギー、⑥デジタルネットワーク・コンテンツ)の革新的な技術・製品の事業化に向けた研究開発、製品開発に対して支援し、成長産業の創出を図る。

2 事業内容

(1) 補助内容

製品開発段階に加え、平成27年度から研究開発段階の支援を拡充

製品開発補助金：成長6分野における新技術・新製品の開発に対する補助
(補助率1/2以内、上限10,000千円)

研究開発補助金：成長6分野における原理実証・設計施策に対する補助
(補助率1/2以内、上限5,000千円)

※平成27年度実績

- ・補助交付決定件数 16件(うち研究開発3件)
- ・補助交付決定額 79,848千円(うち研究開発8,117千円)

(2) 補助対象事業

- ・成長6分野における革新的な技術・製品の事業化に向けた研究開発事業又は製品開発事業であること
- ・事業化(成果品の販売)を見込むことができる事業であること
- ・地域経済への波及効果が大きく、社会貢献度が高い事業であること

(3) 補助対象者

- ・市内の中小企業あるいは、市内中小企業を1者以上含む共同体

(4) 補助対象年度

- ・研究開発補助金、製品開発補助金を合わせて最長2か年度

(5) 審査方法

- ・技術開発、財務、販路開拓、産学官連携等に精通した専門家や有識者で構成する審査会において、一次審査(書類審査)、二次審査(申請企業によるプレゼンテーションや質疑応答)を実施
- ・申請時に、国の「認定支援機関」である金融機関等による事前確認が条件

3 事業費 151,115千円

- ・負担金補助及び交付金 150,000千円(新産業創出事業費補助金)
- ・その他 1,115千円(審査員謝礼等)

海外ビジネス展開支援事業

産業部産業振興課(電話:457-2319)

1 目的

海外需要を取り込み、国内事業の活性化を目指す意欲的な中小企業者を支援することで、雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図る。

2 背景

- ・市内には、高い技術、高付加価値な製品を有しながら、営業力、情報発信力、語学力等の不足により、海外展開に二の足を踏んでいる企業が少なくない
- ・市内企業の進出意欲・関心が高い ASEAN 地域のベトナム、インドネシア、タイと平成 26 年度から平成 27 年度にかけ覚書を締結し、海外ビジネス展開に関するパートナー関係を構築した

3 事業内容

(1) 海外進出支援事業 18,753 千円

①アセアンビジネスサポートデスク運営事業 10,400 千円

ASEAN 地域を対象とするサポートデスクを市内及び現地に設置し、海外展開に関する相談や現地調査、法人設立手続きなどを支援

- ・対象者 市内に本社機能を有する中小企業
- ・対象区域 ASEAN 地域（海外デスクは、インドネシア、ベトナム、タイなどに設置）
- ・業務内容 市内中小企業及び現地進出企業からの相談業務、現地視察アテンド、レンタルオフィス・レンタル工場の紹介 等

②経済交流推進事業 8,353 千円

タイ・ベトナム・インドネシア各国政府機関と締結した覚書に基づく経済交流事業

- ・投資環境セミナーの開催（市内）
- ・投資環境視察ミッションの派遣（タイ、ベトナム）
- ・インドネシア投資調整庁との覚書更新調整
- ・「Mfair バンコクものづくり商談会」への参加（タイ）

(2) 海外販路開拓支援事業 21,875 千円

海外の国際的な見本市に「浜松市ブース」を確保し市内中小企業と共同で出展

平成 28 年度は、世界最大規模の楽器ショーである NAMM Show へ新規出展

COMPAMED（ドイツ・デュッセルドルフ／医療機器部品／平成 27 年度～）

Photonics West（アメリカ・サンフランシスコ／光・電子産業／平成 26 年度～）

NAMM Show(アメリカ・アナハイム／楽器／平成 28 年度～)

4 事業費 41,102 千円

- ・負担金補助及び交付金 23,200 千円（海外販路開拓支援事業費負担金など）
- ・委託料 10,640 千円（アセアンビジネスサポートデスク運営業務委託など）
- ・その他 7,262 千円

はままつ起業家カフェ運営事業

産業部産業振興課(電話:525-9745)

1 目的

浜松地域の産学官金が連携して創業を支援する「はままつスタートアップ」の創業・新事業展開支援総合窓口として、ワンストップ型の創業支援施設「はままつ起業家カフェ」を(公財)浜松地域イノベーション推進機構、浜松商工会議所、浜松市の3支援機関が協同で運営し、創業支援を積極的に推進する。

2 背景

平成26年度の浜松市の開業率は4.52%、廃業率は4.05%となっており、創業・起業に対する積極的な支援による地域活性化を図る必要がある

3 施設概要

場 所：浜松商工会議所会館1階

開館時間：平日：9時～19時、土曜日：13時～17時(2回/月) ※祝祭日、年末年始は除く。

スタッフ：浜松地域イノベーション推進機構、浜松市、浜松商工会議所より派遣

4 事業内容・実績

(1) 相談、アドバイスの実施

- ・はままつスタートアップ創業・新事業展開支援総合窓口の開設
- ・行政書士、司法書士による相談会など各種相談会の実施
- ・創業関連補助金、融資制度の紹介 など

(2) 各種セミナー等の開催予定

- ・起業セミナー 3回
- ・定例サロン 6回
- ・起業実践サロン(勉強会)
 - ビジネスプラン作成講座 1セット6回×2セット
 - 特別講座(業種別講座) 2回
- ・ベンチャーミーティング 2回

(3) 実績(平成27年7月の開所から平成27年12月まで)

- ・相談件数 133人(延297件)
- ・創業者数 20人(飲食業、ペットサロン、不動産業、学習支援等)

5 事業費 10,938千円

- ・負担金補助及び交付金 10,500千円(はままつ起業家カフェ運営協議会への負担金)
- ・その他 438千円(創業支援に関する意見交換会、セミナー等)

〈新規〉首都圏ビジネス情報センター事業

産業部産業振興課(電話:457-2044)

1 目的

首都圏において、本市のビジネス情報収集・発信に関する活動拠点を設置し、積極かつ機動的にベンチャー企業や工場・研究所の誘致、UIJ ターン促進活動などを行うことで、本市の次代を担う企業・人材の確保を目指す。

2 背景

- ・近年、ベンチャー企業の革新的技術やアイデアは、産業界に大きなイノベーションを巻き起こしており、大企業とベンチャー企業との連携が加速している
- ・平成 28 年秋以降、新・産業集積エリア工場用地の一部分譲を開始することから、首都圏の企業に対する積極的な PR が必要である

3 施設概要

- ・設置場所 浜松市東京事務所内（都市センター会館 12 階）
- ・開館時間 午前 8 時 45 分～午後 5 時 30 分（祝祭日、年末年始は除く）
- ・配置職員 4 人（職員 2 人、民間派遣 1 人、アドバイザー 1 人）
- ・業務内容 ベンチャー企業誘致、工場・研究所誘致、UIJ ターンの促進など

4 事業内容

(1) ベンチャー企業誘致

企業訪問による本市情報の提供、企業情報の収集、大学訪問による本市情報提供など

(2) ベンチャーフォーラムの開催

首都圏のベンチャー企業に本市の取組みを PR するためのフォーラムの開催

(3) 工場・研究所誘致

新・産業集積エリアをはじめとする本市への工場、研究所立地を促すため、首都圏を中心とした企業訪問の実施

5 事業費 21,787 千円

- ・委託料 12,395 千円（アドバイザー委託、フォーラム開催、地下鉄駅広告など）
- ・使用料及び賃借料 5,367 千円（職員公舎借上、複写機・電話機レンタルなど）
- ・その他 4,025 千円（企業訪問旅費、事務費など）

地場産業振興事業

産業部産業振興課(電話:457-2825)

1 目的

地場産業を、イベントや展示会を通じて発信することで技術向上を図るだけでなく、広く市民に対しても PR していく。また展示商談会などへの出展を支援することにより、本市地場産業企業や製品の優秀さを広く紹介し、新たな販路開拓などビジネスチャンスの拡大を図る。

2 背景

- ・本市は、古くから「ものづくり」の盛んなまちとして成長し、繊維産業、輸送用機器産業、楽器産業を地場産業として、世界的な企業を輩出している
- ・バブル経済の崩壊や円高の進行、発展途上国の追い上げなどの影響により、本市のものづくり産業は生産額の減少が顕著になり、販路拡大等の支援を行う必要がある

3 事業内容

(1) (新規) 楽器産業支援事業 5,000 千円

- ・楽器フェア 2016 へのブース出展

開催日：平成 28 年 11 月 4 日（金）～6 日（日）東京ビックサイト 西展示場

- ・(仮称) 楽器メイカーズ展の開催（ユネスコ創造都市はままつ推進事業実行委員会が主催する「世界音楽の祭典」と同時開催）

出展企業：市内楽器関連企業

開催日：平成 28 年 11 月 5 日（土）～6 日（日）

場 所：アクトシティ浜松 大ホール前 ホワイエ

(2) バイクのふるさと浜松推進事業 9,150 千円

- ・バイクのふるさと浜松 2016 の開催
- ・モーターサイクルショー等のバイクイベントにブース出展
- ・地元学園祭へブース出展、地元大学で通学用バイク点検

(3) 浜松シティファッションコンペ開催支援事業 12,000 千円

- ・第 23 回浜松シティファッションコンペの開催

浜松地域の綿関連素材の使用を前提としたレディースファッションコンペ

(4) 地場産業振興支援事業 3,630 千円

- ・ハママツコレクション負担金など

4 事業費 29,780 千円

- ・負担金補助及び交付 29,780 千円（浜松シティファッションコンペ開催支援事業費負担金等）

企業立地促進助成事業

産業部産業振興課(電話:457-2282)

1 目的

浜松市内に立地した企業に対して、用地取得費・新規雇用、建物・機械設備費に係る経費の一部及び操業後の固定資産税等相当額を助成することにより企業立地の促進を図る。

2 背景

企業誘致や市外流出防止が重要な課題となる中で、企業の立地促進及び経済環境の変化に対応できる複合的な産業構造への転換を図ることが必要となっている。

3 事業内容

(1) 企業立地促進事業費 2,180,579 千円

- ・補助対象 用地取得日より3年(未造成用地等は5年)以内に操業する企業
- ・補助額等
 - ア 用地取得費 補助率 15~20/100
 - イ 新規雇用従業員 25 又は 50 万円/人
 - ウ 設備投資費 補助率 10/100、上限：1 億円(大型特例は 20 億円)
- ・助成予定件数 25 件

} 上限：合計で 4 億円

(2) 企業立地奨励費 419,421 千円

- ・補助対象 土地・家屋等に係る固定資産税、都市計画税及び事業所税(資産割)
操業開始日の翌年度より3年間(大型特例は5年間)
- ・補助額等 上記の合計額に相当する額、単年度2億円を限度

4 事業費 2,600,000 千円(財源：市債 2,071,500 千円)

- ・負担金補助及び交付金 2,600,000 千円(企業立地支援事業費補助金)

スマートシティ推進事業

産業部エネルギー政策課(電話:457-2503)

1 目的

エネルギーに対する不安のない強靱で低炭素な社会である「浜松版スマートシティ」の実現に向け、再生可能エネルギーやガスコージェネレーションによる多様な分散型電源を確保すると共に、水素社会の構築促進や、住宅や事業所・工場等、個々の建物の省エネルギーやスマート化を推進する。

2 事業内容

(1) (新規) 省エネ相談支援事業 3,000千円

省エネルギー、電力小売自由化等の相談や省エネルギー分野の支援人材育成のためのエネルギー関連の総合支援・相談窓口として運営

- ・事業者向け支援・相談窓口、事業者向けセミナー開催

(2) (新規) 再生可能エネルギー等導入支援事業 6,000千円

民間事業者等による再生可能エネルギー等を活用した新たな発電事業や、それらを利用した地域活性化事業等を支援するため、導入事業者に対して補助金を交付

- ・補助対象 水力発電、風力発電、バイオマス発電、太陽熱利用、地中熱利用、燃料電池の導入
- ・補助件数等 2件程度(補助上限額3,000千円、補助率1/3)

(3) スマートシティ推進・実証事業 6,000千円

スマートシティの構築のため、事業所や工場など、民間事業者へのエネルギーマネジメントシステム(EMS)の導入を支援

- ・補助対象 EMSの導入補助(複数施設の一元管理)
- ・補助件数等 2件程度(補助上限額3,000千円、補助率1/3)

(4) 創エネ・省エネ・蓄エネ型住宅推進事業 88,000千円

スマートハウスの設置を促進するため、以下の補助対象設備を設置する市民等に対し補助金を交付

補助対象	補助上限額/件
太陽光システム(発電出力3kW以上)	40千円
燃料電池コージェネレーションシステム	100千円
ガスエンジンコージェネレーションシステム	50千円
蓄電池	1kWhあたり20千円、上限100千円
ホーム・エネルギーマネジメント・システム	10千円
(新規) V2H対応型充電設備	50千円

(5) (新規) 水素社会構築促進事業 675千円

国のエネルギー基本計画と連携し、スマートシティ実現の重要な要素となりうる水素社会の構築を促進するため、啓発セミナー等の開催、地域内イベントにおける出展を通じた水素社会の啓発を実施

- ・市民・事業者向け水素社会構築促進セミナー
- ・水素社会構築促進に向けた展示会出展

(6) 浜松市スマートシティ推進協議会運営事業 1,731千円

浜松版スマートシティの実現に向け有識者・経済界・金融機関・行政が一体となった取組みを推進するため設立した「浜松市スマートシティ推進協議会」の運営

- ・協議会メンバー：91社（平成28年1月1日現在）市内54事業者、市外37事業者
（電機メーカー、エネルギー関連、建設業 金融機関、大学等）

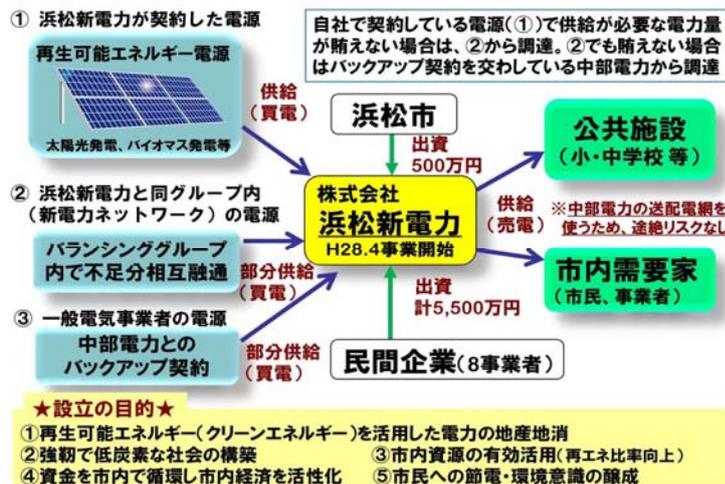
3 事業費 113,170千円（財源：基金繰入金 12,675千円）

- ・負担金補助及び交付金 101,286千円（補助金）
- ・委託料 5,270千円（省エネ相談支援事業など）
- ・その他 6,614千円（旅費、需用費など）

4 新電力会社

- ・平成27年10月に官民連携により「株式会社浜松新電力」を設立し、平成28年4月の電力小売全面自由化に合わせて事業を開始
- ・太陽光発電や南清掃事業所で発電された電力を購入し、再生可能エネルギーによる安価な電力を市民や企業、公共施設へ売電
- ・小・中学校約20校をはじめ、区役所・協働センター、文化施設等、合計約40施設へ電力供給を予定

(参考) 新電力会社「株式会社浜松新電力」の事業スキーム



直虎プロジェクト推進事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

1 目的

平成 29 年 1 月より大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送が決定したことを受け、浜松市への観光客の受入体制を整備するとともに、井伊直虎を活用した観光誘客を図る。

2 背景

- ・平成 29 年 1 月から大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送が決定
- ・井伊直虎の人物像について、子どもから大人まで、市民の理解を深めるとともに、本市の歴史的資源を活かした PR 活動や歴史、大河ドラマのファンなど新たな観光客層の開拓を推進する必要がある

3 事業内容

[平成 27 年度 2 月補正]

(1) 「おんな城主 直虎」推進協議会への負担金

官民連携により本市の歴史・文化の情報発信、観光振興による地域経済の活性化を図る

(2) 啓発受入事業費

- ・家康公祭りにおける直虎プロモーション

「出世の街浜松 家康公祭り」において井伊直虎を題材とした演劇などを実施

- ・マスコットキャラクター製作・活用

井伊直虎のマスコットキャラクターを公募、着ぐるみを製作しプロモーションに活用

(3) 誘客宣伝事業費

広告宣伝、パンフレット・ノベルティグッズ作成、専用ホームページ運用

[平成 28 年度当初]

(1) 大河ドラマ館関連経費

大河ドラマの撮影セット、衣装・小道具などを展示し、大河ドラマの世界観を体感できる大河ドラマ館を設置し、新たな観光施設として誘客を促進する

- ・場所：みをつくし文化センター（北区細江町気賀）
- ・開設：大河ドラマ放送に合わせ平成 29 年 1 月から平成 30 年 1 月まで（予定）
- ・展示物等設置業務委託、管理運営・入場券販売管理等包括業務委託、開館イベントなど

4 事業費 226,600 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 80,500 千円（財源：国 37,600 千円）

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 146,100 千円

- ・委託料 190,939 千円（大河ドラマ館展示物等設置業務委託、マスコットキャラクター着ぐるみ製作、観光宣伝用ツール作成等）
- ・負担金 15,000 千円（家康公祭りにおける直虎プロモーション負担金等）
- ・その他 20,661 千円（奥山観光トイレ整備、みをつくし文化センター借上等）

大河ドラマ関連事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

1 関連事業費

大河ドラマ関連事業として、平成27年度2月補正、平成28年度当初予算の合計で5.3億円を計上。また、平成27年度11月補正及び現計予算対応を含めた関連事業費は、6.6億円。

(単位：千円)

No.	事業	27年度			28年度	合計 (C+D)	【参考】 合計 (A+B+ C+D)
		現計対応 A	11月補正 B	2月補正 C	当初予算 D		
1	直虎プロジェクトの推進	5,484	63,000	80,500	146,100	226,600	295,084
2	(仮称)地域遺産センターの整備	10,927	0	107,629	37,100	144,729	155,656
3	道路の交通安全対策	0	37,000	0	140,000	140,000	177,000
4	その他関連事業	4,682	10,000	13,048	8,814	21,862	36,544
合計		21,093	110,000	201,177	332,014	533,191	664,284

2 事業内容

(1) 直虎プロジェクトの推進 226,600千円 (観光・シティプロモーション課)

①「おんな城主 直虎」推進協議会への負担金

②啓発受入事業費

・家康公祭りにおける直虎プロモーション

「出世の街浜松 家康公祭り」において井伊直虎を題材とした演劇などを実施

・マスコットキャラクター製作・活用

井伊直虎のマスコットキャラクターを公募、着ぐるみを製作しプロモーションに活用

③誘客宣伝事業費

広告宣伝、パンフレット・ノベルティグッズ作成、専用ホームページ運用

④大河ドラマ館関連経費

ドラマ館展示物等設置業務委託、ドラマ館管理運営・入場券販売管理等包括業務委託

⑤奥山観光トイレ修繕 など

(2) (仮称)地域遺産センターの整備 144,729千円 (文化財課)

(詳細は32ページ参照 ※地域遺産センター事業及び美術館施設整備事業の事業費の一部)

引佐協働センターの2階を改修、文化的資源の展示公開機能とビジターセンター機能を併せ持つ(仮称)地域遺産センターを整備

・平成29年1月の供用開始から1年間は、井伊直虎に関する展示を実施

(3) 道路の安全対策 140,000千円 (道路課)

北区井伊谷地区周辺を中心とした交差点や路肩のカラー化、区画線更新など道路の交通安全対策

- ・(国) 362号、(県) 引佐館山寺線など

(4) その他関連事業 21,862千円

- ・第20回静岡県民俗芸能フェスティバルin浜松における民俗芸能披露 (文化財課)
(詳細は34ページ参照)
- ・井伊谷城跡の遺構平面図、地形模型、CG作成等 (文化財課) (詳細は35ページ参照)
- ・企画展「井伊直虎とその時代展」、見学会「井伊谷城を歩く」(文化財課)
(詳細は36ページ参照)
- ・天竜浜名湖鉄道と連携した、PR・イベント実施等への支援 (交通政策課) など

(参考) イベントスケジュール

No.	内容	所管課
1	直虎ゆかりの史資料デジタル化、インターネット上での公開	中央図書館
	直虎ゆかりの史資料を高精細デジタル化、平成28年3月末にインターネット上で公開	
2	「出世の街浜松 家康公まつり」における直虎プロモーション	観光・シティプロモーション課
	家康公と直虎を主人公とした演劇「浜松城 家康の愛」の開催など 開催日：平成28年5月下旬 場所：浜松城公園	
3	戦国城下町探訪講座	文化財課
	テーマ：戦国城下町を読み解く 開催：平成28年10月・11月頃 場所：天竜壬生ホール	
4	直虎と湖北の戦国時代展 (前編・後編)	博物館
	戦国時代に今川・武田・徳川らの群雄割拠の舞台であった浜名湖北岸の武将たちにゆかりの資料の展示 開催：平成28年12月17日～平成29年4月9日 場所：博物館	
5	東海しろあとセミナー	文化財課
	テーマ：井伊直虎とその時代 開催：平成28年12月頃 場所：アクトシティ浜松コンgresセンター	
6	企画展「井伊直虎とその時代展」	文化財課
	井伊谷城の地形再現模型の展示、出土遺物復元等による井伊家本拠地の歴史的環境・景観を解説する展示 開催：平成29年1月から1年間 場所：引佐協働センター (仮称) 地域遺産センター)	
7	大河ドラマ館開館イベント	観光・シティプロモーション課
	大河ドラマの撮影セットや衣装等の展示を通じ、大河ドラマの世界を体験する施設の開館イベント 開催：平成29年1月 場所：みをつくし文化センター	
8	第20回静岡県民俗芸能フェスティバルin浜松における民俗芸能披露	文化財課
	井伊家ゆかりの民俗芸能である「川名のひよんどり」などを披露 開催日：平成29年1月22日 場所：雄踏文化センター	
9	見学会「井伊谷城を歩く」井伊谷城とその周辺のまちあるき	文化財課
	井伊谷城跡をはじめとした井伊谷地区の史跡を歩きながら歴史文化を学ぶ見学会 開催：平成29年3月頃 場所：北区井伊谷地区	

浜名湖観光圏整備推進支援事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

1 目的

浜名湖観光圏整備事業推進協議会で策定した「浜名湖観光圏整備実施計画」に基づき、地域間連携、官民共同による観光地域づくりを促進する。

2 背景

- ・環浜名湖地域の連携による観光地の魅力・競争力向上、国内外からの誘客促進を目的として、行政、観光事業者、運輸事業者等の 27 団体で「浜名湖観光圏整備事業推進協議会」を構成
- ・浜名湖観光圏は、平成 26 年に全国 13 か所の観光圏の一つとして国から認定を受け、世界に誇るブランド観光地に向けた観光地域づくりを推進している

3 事業内容

(1) 構成団体

浜松市、湖西市、静岡県、浜松観光コンベンションビューロー、各観光協会、浜名湖えんため、浜松商工会議所など 27 団体

(2) 事業内容

①海の湖ブランド推進事業

ブランドコンセプトを体現できる滞在プログラムの調査研究、旅行商品の造成など

②広報宣伝・DMO 推進事業

旅行会社等への情報発信、パンフレット等の PR ツール作成、滞在プログラムの情報収集、マーケティング調査、日本版 DMO に係る調査研究など

③浜名湖ぐるっとサイクリング“ハマイチ”推進事業

サイクルイベントの実施、サイクリスト受入環境整備、サイクリング商品造成など

④浜名湖舟運推進事業

サービスエリア舟運事業、新規航路の商品化、モニターツアーの実施など

⑤浜名湖花フェスタ推進事業（フラワーツーリズム）

花関連ツアー造成、外国人アンケート調査、パンフレット作成など

⑥観光圏連携事業

他観光圏との連携による人材育成研修、観光圏マーケティング調査など

⑦環浜名湖地域景観サイン整備計画策定事業

案内サイン整備計画、デザインガイドラインの作成など

4 事業費 19,700 千円

- ・負担金補助及び交付金 19,700 千円（浜名湖観光圏整備推進協議会に対する負担金）

環浜名湖地域における景観サイン整備計画策定事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

都市整備部土地政策課

1 目的

海外からの来訪者を含め幅広い年代層が安全で快適に観光地の魅力にアクセスすることができ、かつ、環浜名湖地域において統一感ある案内誘導の仕組みを構築し、官民共同で活用することにより、案内板等の乱立を抑制し、環浜名湖地域の魅力ある景観の形成を目指す。

2 背景

- ・大河ドラマ放送や東京オリンピック開催など観光客増につながるイベントが準備されているなかで、魅力ある観光プランに来訪者が容易にアクセスするための案内誘導等、受入環境の整備が急務である
- ・案内誘導に関する情報は官民を問わず様々な主体により、案内サイン、WEB、紙媒体等の様々な手法で提供されるため、デザインガイドライン等により官民を含め共通化を図ることが来訪者の満足度を高め、観光地としての魅力を後押しする
- ・浜名湖周遊自転車道は、「日本風景街道」(国交省)認定を受けており、景観等の地域資源を活かした観光振興への活用を目指している

3 事業内容

(1) 環浜名湖地域に係る案内サインの整備計画、デザインガイドラインの作成

浜名湖観光圏整備計画等との整合性を図りつつ全体の基本構想をまとめ、官民連携した案内誘導の共通化に必要なガイドラインを作成する。

(2) 浜名湖沿岸を周遊する自転車道の基本計画(サインシステム、配置計画等)、基本設計(サイン配置図、デザイン図等)の作成

(3) 整備工事の計画及びスケジュール案の作成

4 事業費 4,200 千円

※浜名湖観光圏整備推進支援事業 19,700 千円の一部(再掲)

- ・負担金補助及び交付金 4,200 千円(浜名湖観光圏整備推進協議会に対する負担金)

出世の街浜松家康公祭り事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

1 目的

家康公を中心とした市民参加型イベントを実施することで、出世の街浜松をPRするとともに、観光誘客、観光振興を図る。平成 28 年度は、大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送決定を契機として、徳川家康に深い関係がある井伊直虎の認知度を向上させるため、直虎プロモーションを含めたイベントを開催する。

2 背景

- ・「出世の街浜松 家康公祭り」は、平成 23 年度から 25 年度まで「浜松出世城まつり」として開催し、平成 26 年度から現在の「出世の街浜松 家康公祭り」として開催している
- ・平成 29 年から大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送が決定した
- ・井伊直虎は、のちの徳川四天王のひとりである井伊直政を家康公にお目見えさせるなど、家康の浜松在城期間に深い関わりを持っている

3 事業内容

第 3 回「出世の街浜松 家康公祭り」

開催：5 月（年 1 回開催となる「家康楽市春の陣」と同時開催）

内容：家康公と直虎を主人公とした演劇「浜松城 家康の愛」（直虎プロモーション）

浜松市民 100 名を超す参加者による「浜松徳川武将隊出世太鼓大演奏会」

浜松の子供達による「武者行列 浜松徳川武将隊&子供甲冑隊」 など

4 事業費 6,000 千円

- ・負担金補助及び交付金 6,000 千円



インバウンド推進事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

1 目的

アジア地域をはじめとしたインバウンド（外国人観光客誘致）の推進に向け、現地旅行会社やメディア等の招請、現地プロモーション等により目的地としての浜松市の認知度向上を図るとともに、受入環境整備を進め、回遊性の向上による経済波及効果の拡大を目指す。

2 背景

- ・本市外国人延べ宿泊者数は、静岡県内1位、中部運輸局管内で3位となっている
（平成25年：約173,000人、平成26年：約279,600人）
- ・外国人宿泊者の増加を市内観光振興につなげるため、外国人向けの滞在型・着地型観光の開発・PRが求められている

3 事業内容

(1) ビジットハママツ推進事業

友好都市協定を締結した杭州市や瀋陽市（中国）、台北市（台湾）との関係を活用したプロモーション事業など

- ・杭州市（浜松滞在旅行商品造成、現地旅行会社対象の浜松視察ツアー、トップセールス等）
- ・瀋陽市（青少年交流事業、現地旅行会社への訪問営業等）
- ・台北市（建国花市での観光物産イベント、北投温泉フェスティバル出展等）
- ・シンガポール（食がテーマの浜松滞在旅行商品造成、食イベントでのPR等）
- ・タイ（産業部連携による現地イベントでのPR等） など

(2) 浜名湖観光圏整備推進協議会負担金

官民連携による共同プロモーション、圏域内の外国人観光客の受入環境整備など

- ・台湾（日月潭サイクリングイベントへの出展、現地メディアの浜名湖への招聘、台湾国際旅行博覧会への出展等）
- ・ベトナム（中部国際空港等との連携による現地旅行会社への訪問営業、商談会開催等）
- ・Facebookによる情報発信、まちなか外国人受入マップ作成 など

(3) 多言語版パンフレット等作成

英語、中国語（繁体字、簡体字）、タイ語、韓国語のガイドブック・パンフレット

(4) 広域連携インバウンド推進業務委託

中部圏の観光団体との広域連携による招請事業、海外の旅行会社との窓口業務など

4 事業費 34,737千円

- ・委託料 20,268千円（ビジットハママツ推進事業等）
- ・負担金補助及び交付金 9,200千円（浜名湖観光圏整備推進協議会負担金に対する負担金等）
- ・その他 5,269千円（市観光施設Wi-Fi維持管理等）

グローバル人材活用事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

1 目的

グローバル人材を活用し、アジア地域をターゲットとして、現地旅行会社やメディア等の招請、現地プロモーション、受入環境の整備等を実施することにより、更なる外国人観光客の増加による経済効果の拡大を図る。

2 背景

- ・本市外国人延べ宿泊者数は、静岡県内1位、中部運輸局管内で3位となっている
(平成25年:約173,000人、平成26年:約279,600人)
- ・浜名湖花フェスタ2015に台湾から約1,700人のツアー客が来場するなど、台湾における訪日旅行が増加、多様化している

3 事業内容

(1) (新規) CIR (国際交流員) の招致

総務省、外務省、文部科学省の共同事業「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JET プログラム)」により英語圏 (ASEAN 地域) の CIR を招致し、外国人向け情報発信を強化

- ・外国人目線による Facebook などでの情報発信、プロモーション、受入環境整備 など

(2) (新規) 台湾現地連絡員の設置

台湾に本市連絡員を設置し、旅行会社等からの連絡窓口や情報収集など現地対応を行うことで、台湾人観光客の受入を拡大

- ・現地旅行会社及びメディアへの情報提供
- ・現地旅行会社等からの問い合わせ対応
- ・本市現地 PR 活動における現地調整 など

(3) LGOTP (自治体職員協力交流事業) による国際研修員の招致

LGOTP を活用し、友好交流協定先である瀋陽市から国際研修員を招致する

研修期間: 6ヶ月間 瀋陽市からの受入は4回目

4 事業費 7,656 千円

- ・委託料 1,800 千円 (台湾連絡員の設置)
- ・その他 3,471 千円 (国際研修員の受入れにかかる経費、住居賃借料、渡航費等)
2,385 千円 (国際交流員の受入れにかかる経費、旅費、需用費等)

MICE推進事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

1 目的

経済波及効果の拡大、都市の競争力・ブランド力向上、ビジネス機会やイノベーションの創造を図るため、MICEの誘致と支援を行う。

2 背景

- ・国は日本再興戦略において2030年にはアジアNo.1の国際会議開催国として不動の地位を築くことを目標に掲げ、MICEを観光立国実現に向けた主要な柱として位置付け
- ・ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた都市間の合宿誘致競争が加速化

3 事業内容

(1) 観光・コンベンション推進業務委託 39,564千円

PR活動、商談会参加など、観光客及びコンベンション誘致事業の実施

(2) コンベンション開催支援事業 15,300千円

市内で開催されるコンベンションの開催支援、主催者への助成制度の運営に対する負担金

ア 国際会議助成金(平成28年度開催決定分)

- ・第14回近接場光学国際会議 参加国15か国 参加者300人(うち海外150人)
- ・第16回国際精密工学会議 参加国15か国 参加者300人(うち海外40人)
- ・3rd Asia Pacific Symposium on Fetal therapy 参加国10か国 参加者230人(うち海外30人)
- ・第94回日本生理学会大会 参加国8か国 参加者1,380人(うち海外80人)

イ 助成内容

項目	内容
宿泊助成金	浜松市内を主会場として開催されるコンベンションで1泊100人以上の場合、延べ宿泊人数×500円を助成
アトラクション助成金	浜松地域の伝統芸能又は芸術文化団体を利用した場合、支払額の1/2に相当する金額を助成
国際会議開催助成金	参加国が3か国以上、開催期間が3日以上、浜松地域の振興に寄与する国際イベントに対し対象経費の10%以内を助成

4 事業費 55,115千円

- ・委託料 39,564千円(観光・コンベンション推進業務委託)
- ・負担金補助及び交付金 15,300千円(コンベンション開催支援事業負担金)
- ・その他 251千円

シティプロモーション事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

1 目的

様々なメディアやツール・手法を組み合わせた戦略的なプロモーションを展開することで、都市の知名度やイメージを向上させるとともに、シティプロモーションのコンセプトである「出世の街 浜松」の全国的な定着を目指す。

2 背景

平成 27 年 11 月には、出世大名家康くんが「ゆるキャラ®グランプリ 2015」でグランプリを獲得、また、平成 29 年 1 月からは、本市にゆかりのある井伊直虎を題材とした大河ドラマの放映が決定するなど、本市の PR には絶好の機会が訪れている

3 事業内容

[平成 27 年度 2 月補正]

- ・「出世の街 浜松」全国プロモーション及び戦略的メディアリレーション 25,000 千円
 - ・情報誌制作 (HAMA 流 110,000 部×3 回発行) 等 12,096 千円
 - ・(新規) 家康くんによる浜松市イメージアップキャンペーン 4,800 千円
- 家康くんが市内観光スポット等を巡る動画制作 (15 分×4 テーマ)

[平成 28 年度当初]

- ・(新規) バイクのふるさとプロモーション 3,074 千円
鈴鹿 8 時間耐久レースへのブース出展やツーリングマップの作成
- ・(新規) 家康公ジオラマ制作事業 1,503 千円
徳川家康公と浜松のつながりを視覚的に表現できるジオラマ制作
浜松城開基 450 年となる平成 32 年までの 5 年間、年に 1 作品制作し浜松城へ展示
- ・ゆるキャラ®グランプリ 出場キャラクターや歴代グランプリ獲得者への訪問 PR 1,045 千円
- ・(新規) (仮称) 全国家康公顕彰会への負担金 200 千円
平成 27 年の徳川家康公顕彰四百年記念事業の後継組織を通じた家康公顕彰

など

4 事業費 77,896 千円

平成 27 年度 2 月補正計上 49,903 千円 (財源: 国 23,300 千円)

※地方創生加速化交付金事業、繰越明許費

平成 28 年度当初計上 27,993 千円

- ・委託料 63,934 千円 (「出世の街 浜松」プロモーション、家康くん関連経費等)
- ・その他 13,962 千円